



お手玉遊びの文化伝承に取り組む ～和歌山のお手玉の会（ななこの会）～

4,000年の歴史があるといわれる“お手玉”。古代エジプトの壁画にもその様子が描かれており、シルクロードを渡り日本に伝来したといわれています。聖徳太子も幼少期に水晶玉をお手玉のようにして遊んだという記述も残っているそうです（鎌倉時代編纂の『古今目録抄』より）。今回は、お手玉遊びの文化の伝承や、現代風お手玉遊びの創造にチャレンジしている「和歌山のお手玉の会（ななこの会）」代表の森勝代さんにお話をうかがいました。

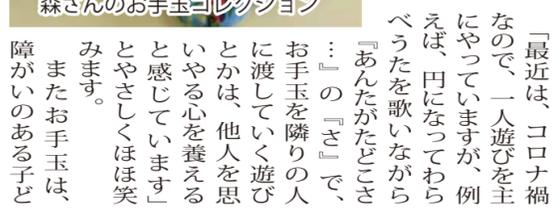
活動はじめて15年!!
和歌山のお手玉の会（ななこの会）は、2005年12月に発足し、現在会員は35名。和歌山市内を中心にイベントや教室を開催し、お手玉の文化を広めています。



今では「お手玉」の本は英語に翻訳され、逆に日本から世界へ発信されています。

歴史ある「お手玉文化」世界へ逆輸出!!
「いちばんはじめは、いちのみや」と歌いながら「両手3こゆり（※）」を演舞する森さん。目下の目標は「片手3こゆり」ができるようになることだと、朗らかに話します。

その他にも、和歌山大学教育学部の学生に「音楽・身体総合表現」の講師として指導をしています。



森さんのお手玉コレクション
「最近では、コロナ禍なので、一人遊びを主にやっていますが、例えば、円になってわらべうたを歌いながら『あなたがたどこさ...』の『さ』で、お手玉を隣の人の手へ渡していく遊びとかは、他人を思いやる心を養えると感じています」とやさしくほほ笑みます。

「見る・作る・遊ぶ・学ぶ」お手玉
「お手玉には、いろんな楽しみ方がありません。演舞の鑑賞やお手玉の制作、収集。一人遊びだけでなく数人で遊ぶ方法もあります。段位取得や演舞を創造し挑戦したり、歴史や文化を学ぶなど、お手玉の世界は幅が広がります。」

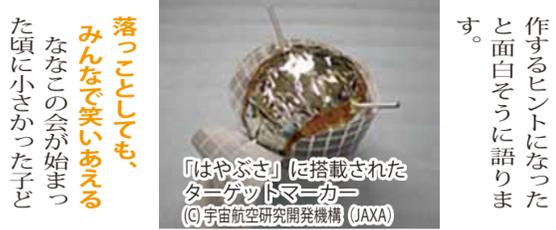
「お手玉の効果はすごい!」
手を動かすことで健康促進にもつながり、集中力も養え、脳の活性化にもなる、と森さん。

会「団体戦で優勝したこともあり、熱心に活動に取り組みんでいます。」

「最近では、コロナ禍なので、一人遊びを主にやっていますが、例えば、円になってわらべうたを歌いながら『あなたがたどこさ...』の『さ』で、お手玉を隣の人の手へ渡していく遊びとかは、他人を思いやる心を養えると感じています」とやさしくほほ笑みます。



演舞をするメンバーのみなさん
「小さい頃から、興味深いです。小さい赤ちゃんはお手玉が「ポトッ」と落ちる様子を見るだけでもとても喜びます。高齢者は「子ども頃の頃に遊ぶんだ」と懐古し、手触りを楽しみます。地域の子どもたちも、あちやんに作ってもらったお手玉で遊んだり、世代を超えて交流の輪もできています。」



「はやぶさ」に搭載されたターゲットマーカー
布のお手玉が落ちるさまが、小惑星探査機「はやぶさ」をイトカワの表面に導く「ターゲットマーカー」を制作するヒントになったと面白そうに語りま

「はやぶさ」にも?!
布に包まれたお手玉は日本特有のもので、江戸時代に登場したといわれています。「ほら、お手玉って落ちて跳ねないでしょ?」とテーパーにポトポトと落とす森さん。

布のお手玉が落ちるさまが、小惑星探査機「はやぶさ」をイトカワの表面に導く「ターゲットマーカー」を制作するヒントになったと面白そうに語りま

「上手くできない時もあるけど、練習してきたときは、めっちゃ楽しい! 休憩時間に練習していると、友達が『すごい!』と言ってくれるのが嬉しい」と話していました。

「上手くできない時もあるけど、練習してきたときは、めっちゃ楽しい! 休憩時間に練習していると、友達が『すごい!』と言ってくれるのが嬉しい」と話していました。



両手3こゆりを披露する都築琴乃さん
もが、今では高校生や大学生に。地域のみんなでも子どもの成長を見守っています。小学4年生の都築琴乃さんは、お手玉歴5年。軽快に両手3こゆりを披露してくれました。

和歌山のお手玉の会（ななこの会） TEL・FAX 073-452-8627 (森 勝代さん)
イベント情報
●お手玉交流会
第3月曜日 10時～12時 河北コミュニティセンター（和歌山市）
●お手玉遊び教室
第1土曜日 14時～15時半 和歌山県立図書館

花王ハートポケット倶楽部 × わかやま NPO センター
和歌山地域貢献活動応援基金 “わかやまいきいきファンド” 助成応募締め切り迫る!

【和歌山地域貢献活動応援基金とは】
花王グループ社員のみなさんによる社会的支援を目的としたクラブ組織「花王ハートポケット倶楽部（※）」会員の皆様のご寄付を原資に、元気な和歌山を作る NPO（NPO 法人・市民活動団体・ボランティアグループ等）に対し、企業と県民が協働して街づくりの推進を図ることを目的とした助成を行います。
※毎月の給与から1口50円、1口～100口の任意の金額を積み立てられています

【助成対象】
以下の2つの部門があります。
●スタートアップ支援事業：活動を開始して2年未満の団体。
●パワーアップ支援事業：活動を開始して2年以上経過した団体。
活動開始日が2018年11月18日以降がスタートアップ支援事業、2018年11月17日以前がパワーアップ支援事業の対象となります。

◆両事業共通事項
・和歌山県内で活動する NPO（法人格は問いません）であること。
・地域コミュニティに主体的に関わる事業であること。
・2021年4月1日～2022年3月31日の間に行われる事業であること。
・団体内部の研修のように地域住民のみなさんが参加できない事業は対象になりません。
・前年度採択された団体は、連続して同種類の助成金への申請はできません。
・前年度スタートアップ支援事業に採択された団体が、今年度はパワーアップ支援事業に申請することはできません。

【助成金額・団体数】
●スタートアップ支援事業：1助成5万円（4団体）
●パワーアップ支援事業：1助成10万円（3団体） 助成総額50万円

【応募方法】
申請書類に必要事項を記入のうえ、わかやま NPO センターまで、郵送または FAX またはメールにてお届けください。
なお、団体の情報開示の状況も審査対象になりますので、ウェブサイトやブログ、Facebook ページ等の URL があれば必ずご記入ください。
申請用紙は特設サイトからダウンロードできます。
<http://www.wnc.jp/kao/index.htm>

【締 切】 2020年11月17日（火）消印有効

【選考方法】
●第1次審査（書類選考）
実施主体が設ける選考委員会で審議します。
●第2次審査（投票選考）
花王ハートポケット倶楽部に参加している社員に、応募申請書を公開し、投票で採択団体を決定します。

【助成金の交付について】
2021年2月～3月頃に採択団体を対象に助成金贈呈式を開催します（会場は未定ですが、遠方の方には規定により旅費の一部を負担します）。
なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては中止またはオンラインでの開催の可能性があります。
その後、団体口座に銀行振込により交付します（個人口座には振込できませんのでご注意ください）。

【活動の報告について】
助成を受けた団体は、助成を受けた活動の様子をブログもしくは Facebook ページ等で随時掲載してください。事業終了後、活動報告・決算報告の作成・提出が必要です（様式は採択後案内されます）。

【助成申請先】
認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL:073-424-2223 FAX:073-423-8355 E-mail info@wnc.jp
（事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます）

【助成に関する相談窓口】
和歌山県 NPO サポートセンター
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛9階
TEL:073-435-5424 FAX:073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp

※必要に応じ助成申請者に対し提出資料の追加を求めたり、訪問調査を行うことがあります。
※ 審査結果は2021年1月下旬頃に書面で通知する予定です。